

### 植物とのふれあい・学び

発行：理学研究科・植物管理室 2018年8月

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

#### キャンパスの豪雨災害



7月の豪雨災害では、広島県において土砂災害や河川の氾濫が発生しました。被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。キャンパス内でもいくつか被害がありましたが、発見の小径においても、山中谷川の水が増水す

など、何箇所かで小さな土砂崩れが起きました。数年前の大雨にて被害のあった場所が今回も影響を受けました。再々土が崩れる場所では、今後も細心の注意が必要だと考えさせられました。



豪雨のあと、キャンパス内において、生き物の移動、植生の変化などが見られ、災害は人間にとって甚大な被害を及ぼしますが、生物にとっては新たな自然環境を作り出す機会にもなっているのだと感じました。



しばらくは、通行止めです。

#### フィールドナビ「キャンパスの遺跡と自然探検」



ががら山のみはらし岩にて記念撮影



このイベントは、埋蔵文化財調査部門が主体となって実施されましたが、広大生のみさんも、キャンパスの歴史をナビゲートしてくれました。

5月26日(土)に第66回フィールドナビが行われ、発見の小径や山中池の自然歩道における自然ガイドに協力しました。初夏のキャンパスの自然を満喫できました。

#### 学内の緑化活動

6月14日、学内緑化ボランティアのみなさん14名によって中央図書館の花壇に、マリーゴールドとサルビアの苗を植え付けました。



6月8日には、東雲中学特別支援学級3年生の職場体験により、マーメイドカフェにペチュニア苗の植え付けを行いました。



今年は、猛暑と大雨が続き、花壇の花も大変でした。

#### 栽培実習・H30年春コース



植物栽培入門講座は、春コースが終了しました。今年のメンバーも、元気よく熱心に野菜作りに取り組みました。採りたてのトウモロコシやエタマメは格別の味でした。この講座では、いろいろな学部所属するみなさんが交流をしながら楽しんで活動しています。



たくさん実ったナスやピーマンを収穫しました。園内の梅で梅ジュース作りも行いました。



#### 野鳥調査開始(第二弾)



が経過しているため、再度調査することになりました。調査は、「東広島野鳥と自然に親しむ会」のみなさんを中心に学内スタッフも参加協力しています。週一回調査することで、前回(月一回)では、みられなかったいろいろな発見があります。この調査で改めて広大のすばらしさを確認できました。

4月よりキャンパス構内の鳥類相の調査が始まりました。この調査は毎週金曜日9時に山中池をスタートし、角脇調整池までの自然道をラインセンサス法にて調査を行っています。キャンパスの野鳥については、2010年に新名氏・谷口氏の両名が調査が行われていますが、あれから幾年かの月日



野鳥だけでなく、トンボ・チョウ・植物なども観察します。

#### 園内の花

##### オニバス *Euryale terox*



###### スイレン科

一年生の水生植物。植物全体に大きなトゲがあり、特に葉の表裏のトゲは鋭く硬い。花は水中での閉鎖花が多いが、8~9月に紫色の花を咲かせることもある。

#### 園内の花

##### ホシアザミ *Hipoburoma longiflora*



###### キキョウ科

全草に強いアルカロイドが含まれている有毒植物で、葉・茎・花を切ると出る白い乳液は、目に入ると失明する危険がある。世界の熱帯・亜熱帯に進出し帰化している



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科  
植物管理室

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp